

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公開番号】特開2009-58914(P2009-58914A)

【公開日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2007-228480(P2007-228480)

【国際特許分類】

G 03 G 15/00 (2006.01)

B 41 J 29/06 (2006.01)

H 05 K 5/02 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/00 5 5 0

B 41 J 29/06

H 05 K 5/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

設置面上を移動可能な装置の底部に設けられ、前記装置を設置したときに前記装置を支持可能な装置支持機構において、

装置の底部に取り付けられる固定部材と、

前記固定部材に、突出、格納可能に設けられた連結部材と、

前記連結部材に設けられ、前記装置の設置面に対して接地、または近接する第1の位置と、前記装置の設置面から離間する第2の位置とに変位可能な支持部材と、

前記連結部材を突出させるときに、前記支持部材を前記第1の位置に変位させ、前記連結部材を格納するときに、前記支持部材を前記第2の位置に変位させる変位手段と、

を有することを特徴とする装置支持機構。

【請求項2】

前記変位手段は、案内溝が形成された案内部材と、前記連結部材に設けられた被案内部と、を有し、前記連結部材を突出、格納させるときに、前記被案内部が前記案内溝に案内されて前記支持部材が回転するように構成され、前記支持部材が回転することにより該支持部材が前記第1の位置又は前記第2の位置に変位することを特徴とする請求項1記載の装置支持機構。

【請求項3】

前記連結部材を格納する方向に付勢する付勢部材と、前記連結部材を突出させた状態で前記被案内部を係止する係止部と、

を有することを特徴とする請求項2に記載の装置支持機構。

【請求項4】

前記案内溝は螺旋状の溝であることを特徴とする請求項2又は請求項3に記載の装置支持機構。

【請求項5】

前記装置に設けられ、シートを収容するシート収容手段と、

該シート収容手段からシートを給送するシート給送手段と、
前記装置の底部に設けられた、請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の装置支持
機構と、
を備えたことを特徴とするシート給送装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のシート給送装置と、
前記シート給送装置により送り出されたシートに画像を形成する画像形成部と、
を備えていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 7】

前記装置に設けられ、シートに画像を形成する画像形成部と、
前記装置の底部に設けられた、請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の装置支持
機構と、
を備えたことを特徴とする画像形成装置。